

電気 通信 交通

電気

- 1912年（大正元） 天草電燈会社発足 6月
- 同年 本渡発電所開設 11月
- 1927年（昭和 2）本村に電灯がつく
- 1950年（昭和25）世帯数641戸（内無電灯戸数73戸）

通信

- 1919年（大正8）本渡で電話交換業務開始
- 1928年（昭和3）ラジオ放送始まる
- 1949年 本渡電報電話局開局
- 1950年 ラジオ聴取者一九四戸
- 1953年 NHKテレビ本放送開始
- 1954年 電話架設
- 1953年 NHKテレビ局開局 公社電話自動化
- 1959年 有線放送電話開始（昭和47年廃止）
- 1960年 カラーのテレビ放送が始まる
- 1965年 公社電話全国即時通話網に編入
- 1966年 カラーテレビ入る
- 1968年 ポケットベルサービス開始。
- 1970年 カラーテレビ普及する
- 1972年 地域集団電話開通
- 1976年 日中海底ケーブル開通 苓北～中国ナンホイを結ぶ全長1,036 km
- 1979年 下河内新休寺領にテレビ中継局開局 公社電話ダイヤル化
- 1985年 電電公社がNTTに民営化
- 1989年 消防防災無線開局
- 1990年代 携帯電話の普及が本格化
- 199年代 インターネットのホームページが急速に増加
- 2000年 デジタル衛星放送を開始
- 2000年代 ADSL方式によるブロードバンドインターネットが家庭へ普及
- 2003年 地上デジタルテレビジョン放送が大都市圏ではじまる

郵便局

- 明治 4年 郵便役所創設、飛脚法を開始。切手販売制、郵便規則を定める。
- 明治 5年 通信業務を開始。
- 明治 6年、はがき・封書の料金が定められる。
- 明治 8年、郵便役所を郵便局に改め郵便受取所を設置。
郵便貯金・郵便為替が開始された。
- 明治19年、三等郵便局長の採用、請負制を認める。
- 大正 5年、電報取扱業務が開始された。
簡易生命保険取扱事務が開始された。

大正15年、郵便年金取扱事務が開始された。
昭和2年、電信電話取扱事務が開始された。
昭和3年、月掛貯金取扱事務が開始された。
昭和4年、本村郵便局が開局される（局長野島亀彦氏）
昭和14年、電話交換業務が開始された。
昭和16年、三等郵便局が特定郵便局と改称された。
昭和22年、国家公務員法公布。野島功氏局長に就任。
昭和46年、電話交換事務が廃止された。
昭和56年 野島悦生氏局長に就任
平成15年、野島康弘氏局長に就任

交通 アクセス

海路

天草は離島であるため、交通手段はもっぱら舟による海路を利用していた。大正13年（1924）大矢崎築港が完成、昭和3年大矢崎新港が開港し、本渡三角間を汽船が運行した。喫水が浅く接岸できないため、手漕ぎの小舟で沖に停泊する本船へ乗り換えていた。昭和30年、本渡港が開港し、栈橋から乗船出来るようになった。

昭和37年、本渡～三角間に水中翼船が就航し、同42年には、本渡～熊本要江間にホーバークラフトが就航した。平成9年、本渡～熊本新港を1時間で結ぶ高速艇マリンビューが就航したが、現在乗船客の減少から廃止を余儀なくされている。

陸路

江戸時代、天草における行政の中心地は富岡（苓北町）であり、陸路として富岡から志岐～平床～鶴～福連木～一町田へのコースは代官の巡視や志岐麟泉が何回も往来した記録が残っている

現在、下島広域農道が開通し、林道苓北～天草線が交差する茶屋峠には喉の渴きを潤す湧水があり、今も休憩地として整備され当時の名残りを留めている。

道が整備されるまでの人々の移動は、ほとんど徒歩で、駕籠に乗れるのは東向寺の御前様か医者どんであった。

明治2年、県天草支庁が熊本より本渡町船之尾に移され、天草の道路交通網は本渡中心に発展する事になった。

明治24年、本渡～二江線が開通、間もなく本町を貫く志岐への県道が東向寺の境内を突き抜ける形で竣工した。

明治39年、富岡往還（本渡富岡間）が開通し、同44年下河内～寺領間の道路が完成すると客馬車や荷馬車が登場し人の移動や物流が容易になった。

大正5年、天草にはじめて自転車が導入されたが、一般に普及するのは主要道路が開通した昭和に入ってからである。

昭和3年には、苓州館自動車部が、本渡～本村間にバスを運行した。続いて、寺領から半河内に通じる県道引地～本町線が開通した。

昭和17年、九州産交バス（株）が設立、同25年本渡本村間をバス運行開始により移動が更にスピードアップされた。

昭和30年代前半までは通学・通勤にはほとんど自転車を使用したが、30年代半ばから単車が普及してきた。

昭和38年、町村合併の条件であった市道本町山口線が開通、更に広域営農団地農道整備事業として新休～城河原～坂瀬川～志岐に至る下島広域農道が昭和54年開通した。アクセス道路も整備され、県道は主要地方道二本を合わせると4路線、市道は本町梶山線他、4路線延長にして62.7キロメートルに及んでいる。

昭和40年代になると乗用車が一般に普及し、現在では成人者の必需品位になった。交通の変遷を歴史的にたどってみると次のとおりである。

- | | |
|-------------|---|
| 明治39年(1906) | 富岡往還、開通(本渡富岡) |
| 明治44年(1911) | 下河内～寺領間、道路完成 |
| 大正元年(1912) | 富岡往還、拡幅改修(県道認定) |
| 大正5年(1916) | 寺領～福岡間、道路完成
天草に自転車が走る |
| 昭和2年(1927) | 福岡～平床間、道路完成 |
| 昭和3年(1928) | 苓州館自動車部が本渡～本村間にバスを運行 |
| 昭和8年(1933) | 本渡～本村間に岩崎タクシーを運行 |
| 昭和9年(1934) | 本渡～下田、県道開通 |
| 昭和10年(1935) | 宇土洗切、道路完成 |
| 昭和17年(1942) | 福岡～二又間、道路完成
九州産交バス(株)設立 |
| 昭和25年(1950) | 本渡本村間、産交バス運行 |
| 昭和29年(1954) | 本渡平床間、産交バス運行 |
| 昭和32年(1957) | 雪州林道完成 |
| 昭和35年(1960) | 主要地方道 本渡苓北線(平床経由)認定
県道 引地本町線(寺領～八久保)認定 |
| 昭和36年(1961) | 寺領農道が竣工 |
| 昭和38年(1963) | 市道本町～山口線開通 |
| 昭和39年(1946) | 本町～坂瀬川線竣工 |
| 昭和41年(1966) | 天草五橋開通 |
| 昭和46年(1971) | 農免道路本渡～五和間完工 |
| 昭和47年(1972) | 主要地方道、本渡下田線(八久保経由)認定 |
| 昭和48年(1973) | 林道、広野線開通 |
| 昭和49年(1974) | 瀬戸大橋開通 |
| 昭和50年(1975) | 天草五橋、通行料無料化 |
| 昭和54年(1979) | 農免道路、本渡～苓北間完工 |
| 昭和57年(1982) | 県道、本渡五和線拡幅改修(下河内～梶原)認定 |
| 昭和63年(1988) | 県道下河内～新休間二車線化 |

空路

平成12年、本町梶原地区には空の玄関口として天草空港が開港し、熊本まで20分、福岡まで30分で結ぶ、天草で一番近くて便利な町になった。